

2020 年度
名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻
博士前期課程 建築学コース
入学試験問題

専 門 科 目 I (計画系・設計製図)

【 計 画 系 】

一般選抜 (普通入試)
留学生特別選抜
社会人特別選抜

令和元 (2019) 年 8 月 20 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 30

受験番号	
------	--

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、計画系の問題である。問題は、この表紙および白紙 1 枚と、問題 5 枚の計 7 枚からなる。また、問題は「計画 1」から「計画 5」の 5 問ある。試験開始後、枚数を確認し、過不足があればすみやかに申し出ること。
- 2) 「計画 1」から「計画 5」の中から 2 問を選択し解答すること。
- 3) 本冊子のホッチキス止めを外さないこと。
- 4) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。試験終了後、本冊子も回収する。
- 5) 答えは日本語で解答すること。

計画 1

「ヴォールト (vault)」を用いた近現代建築の事例を一つ挙げ、1)建物名と設計者名を記し、2)その構造とそこで生み出された空間の特徴を、近代建築以前の伝統的な「ヴォールト」と比較して、説明しなさい。(300字～500字)

計画 2

図 1 と図 2 は、1938 年に実施された大連市公会堂建築設計懸賞競技の 1 等当選案の透視図と平面図である。以下の問いに答えよ。

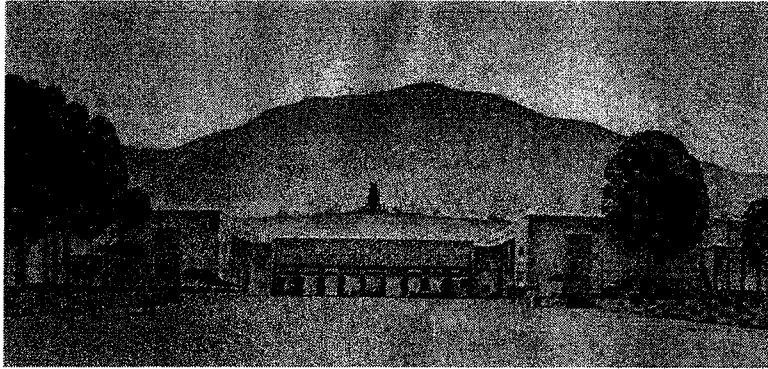


図 1 大連市公会堂建築設計懸賞競技 1 等当選案透視図

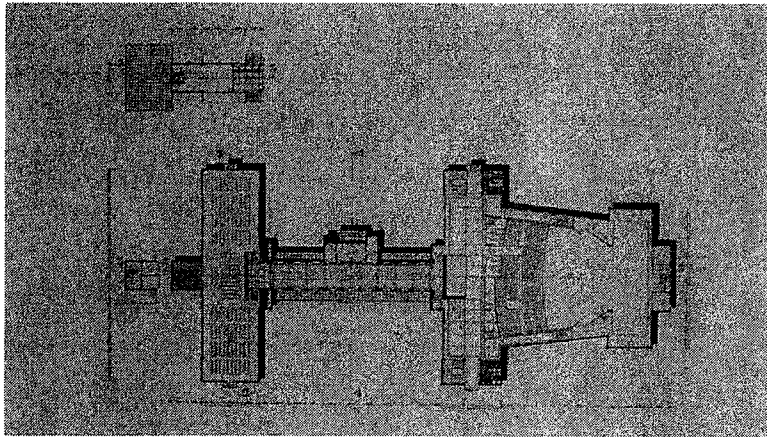


図 2 大連市公会堂建築設計懸賞競技 1 等当選案平面図

(図版出典：満洲建築協会編『大連市公会堂建築設計懸賞競技入選図集』1938 年)

- (1) この案を設計した建築家の氏名を答えよ。
- (2) 図 1 および図 2 に基づいて、この案の特徴を次に示す語句をすべて使って、100～150 字で説明せよ。 語句：平面、配置、直交、丘、軸
- (3) 上記 (2) で示したこの案の特徴に基づいて、この案の建築史における位置づけを 100～150 字で答えよ。

計画 3

『明日の田園都市』の著者名を記した上で、その本の中で示された田園都市のダイアグラムの1つを描き、そのダイアグラムが示す田園都市の特徴を説明せよ。

計画 4

貸しオフィスビルの基準階の設計において、貸しビル事業者の収益性を高めるために考慮すべき事項を、複数の視点から整理して 300 字程度で述べよ。

計画 5

床座とイス座を定義しなさい。そして、住宅の居間を設計する際に、床座をとる場合とイス座をとる場合を比較して、留意すべき点を3点挙げて説明しなさい。(全体で300字程度)